

発行 日本共産党南知多支部



連絡先
〒470-3321 南知多町
内海内塩田77-3
(南知多町議会議員)
内田 保
電話 0569-62-1816
携帯 090-2776-7529

内田たもつだより

内田たもつ ホームページ
http://uchida-tamotsu.jimdo.com



日本共産党発行
shin 赤旗
日刊 3497円
日曜版 930円

行政に届け！女性の声 みんなの声

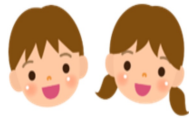
南知多町総合体育館で2月9日、「南知多町女性団体連絡協議会」主催の「ワールドカフェ おしゃべりタイム」が実施され、内田議員も参加しました。全体では、80名の参加（男性は約10名程度）で、「なったらいいなこんな町」「健康・生きがい」「自分と家族」「子育て、孫育て」の4つの分科会に分かれ、意見や要望が出され、有意義な会となりました。参加者から寄せられた声を紹介します。



新生「みんなの集い」に参加して

南知多町女性団体連絡協議会が例年開く「女性のつどい」が「みんなの集い」と改称され、初めての試みで、4テーマに分かれ、1グループ6人、前後半20分2ラウンドで話し合った。「南知多は子育てするにはいい環境だと思いが、この頃近所に子どもを聞かなくなってきた。」

「地域で、会話する機会が減ってきた。最近、用心づか家に居ても鍵をかける家が多い。広報や 掲示板などもついポストへ入れてくる・・・」「統合中学になるが、通学エリアが今までより広くなるので、不安や心配が・・・」「孫が訪ねてくるのは、本音でどう思うか？迷惑ですか・・・？」



(Q:ママ世代)
「なんかよほさない。でも、来てくれ、帰ってうれし、孫・・・だね。(笑)」

(A:一回 などなど)

参加者ひとりひとりが希望のテーマのもと、時間いっぱい、気軽に前向きにそれぞれの思いや考えを出し合い、悩みや気づきを共有できるいい機会になったかなと思っ。

あと、女団連が意見を集約して町にも届けてくださるようなので、町政に少しでも生かしてもらえたらいいと思っ。

楽しい時間を過ごさせて頂き、初めての参加でしたが、とても充実した時を過ごすことが出来ました。開催していただきました役員の皆様へ感謝です。絆が薄れつつの今日この頃です。また昨日の皆様の中に、移住してきた方で南知多をなじみやすい町と褒めていらっしゃいました。こういった会を機に、町の活性化に繋がりますようにと思います。

「なだらかな二ヶ町」の分科会から

- 高校生の息子の定期代が高くて大変。知多バスも2時間待ちもある。陸への買い出しも運賃節約のため、一度に大量に買い込んで帰る。名鉄海上観光船の乗船料高過ぎ。
- 補助券をふやして(島のお母さん) やナギやJAが撤退し、買い物ができない。何とかして欲しい。
- 婦人会や老人会が次々となくなり、近所や周りの人の繋がりが薄れ、家から出ない生活になっている。一人ぼっちのママや老人が増えている。廃校を「老人憩いの場」や「子ども食堂」に活用できないか。
- 「男は仕事、女は家庭」という昭和の意識は、女性を苦しめている。男女共同参画社会やジェンダー平等実現のため、南知多町会議員や役場の管理職など決定権のある場所に女性の登用をしてほしい。



書ききれないほどの要望・意見が出されました。参加した町会議員の皆さんには、各グループで出された声の実現のため、即行動して頂きたいと思っ。

(川柳コーナー)

家庭でも職場でも、女性が差別なく平等に生きられる社会は、男性も生きやす、子どもも笑顔になれたらいい。男女の賃金格差をなくし、子育てしやすい環境を。

生き生きと働く女性に子の笑顔

女性が働きながら子育てができる条件 子どもたちが安心して遊べる条件整備を

「子育て、孫育て」の分科会には9名の参加で、現役子育ての方が2名参加しました。女性が働きながら子育てができる条件、子どもたちが安心して遊べる条件、島からの新中学校通学の不安、南知多町の人口増やそのための施策等が話し合われました。自己紹介の後、それぞれから次のような発言がありました。

- ファミサボがはじまったのは、ありがたい。でも周知が足りなくて知らない人がいる。
- 保育所、小中学校の給食費無償化は続けてほしい。
- 学童保育はありがたい。しかし、高学年で希望しても定員が足りないところを何とかしてほしい。
- 小学校校区に学童保育をつくらしてほしい。
- 日間賀島から中学校に通うのは大変だ。病院や忘れ物の時の対応は大丈夫か。荒れる海の時のことを心配してしまう。
- 昔は、周りで声をかけることがあったが、少なくなってきたのでできるだけ子どもたちに声をかけるようにしている。
- 子どもの場所、小さな駄菓子屋もなくなって、自分で10円で買う機会もない。お金の価値を知らせるためにもカードばかりの社会でいいのだろうか。
- 子どもの声が聞こえるとホットする。
- 南知多町の高校生は島からだ、早朝の船で名古屋へ行く。子育て中の家では、中・高生がいると母と子どもで、アパート暮らしをするケースも出てきている。
- 虫歯菌をつけないように、爺・婆は大変気をつけて、孫と接している。
- 船の代金が高いので、もっと無料の券や、補助券を増やして欲しい。
- 学童保育の夏の保育の人数をもっと広げて欲しい。
- 学童保育の朝の預け時間を早くして、終わりの時刻も遅くしてほしい。
- 保育所の時間も8時から早い時刻から預けることができるようにしてほしい。